

増補改訂版の序

物理探査ハンドブックは、1998年に物理探査学会創立50周年記念出版物として発行された（以下、旧版と記す）。爾来、日本語で書かれた物理探査技術全般にわたり解説した唯一の書として広く普及、販売され、ついに残部がなくなる事態を迎えた。物理探査ハンドブックの意義、役割については、発行当時創立50周年記念出版委員会委員長であった芦田譲氏により詳しく述べられているが、このような書物の発行は物理探査学会の活動として根幹をなすものであり、発行を継続しなければならないものである。

以上の事情に鑑み、学会では急遽再版を発行することになった。しかし、旧版は発行以来17年を経ており、その間の技術の発展は著しく、その内容をそのまま再版することでは時代の要請に応えられないと考えられた。一方、このような大著を全面的に改訂するには、非常に大きな労力と時間が必要である。そこで、現実的な対応として、短期間で改訂版を出版するために、旧版の章立ては残し、現在は使われていない技術の記載は省き、最近発展した技術は新たに書き加えるという効率的な改訂を行う方針として、出版作業を短い期間で行うことをめざした。

このような難しい作業をおこなうために、各章それぞれにその分野の専門家の方に担当していただき、改訂が必要な内容を整理し、時代に則した内容になるように加除修正を行っていただいた。また、3名の幹事の方には、主として各章の校正、記載の統一など大変な作業を担当していただいた。こうして完成したものが本改訂版である。旧版では、白黒の図が多くカラーの図は章末にまとめるという体裁であったが、すでにカラーの図が普通になった時代であることを考慮し、カラーの図を多用し本文の中に配した。これにより、冊子版の価格は高額になったが、現代の水準に合った読みやすい本になった。また、旧版には、ケーススタディ編が一分冊として含まれており、それも改訂する必要もあったが、創立60周年記念出版物として、2008年に最新の物理探査事例集が発行されていることも考慮し、今回の版では含めないことにした。この改訂版ハンドブックが物理探査技術のさらなる理解、普及に役立てられることを願っている。

事業委員会物理探査ハンドブック増補改訂部会長
茂 木 透